

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 あいの里シルバーメイツ

日付 平成 20年 3月26日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 在宅介護経験10年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

グループホーム・あいの里シルバーメイツは、青木内科小児科医院を核として、数多くの保健・医療・福祉・介護分野の機能を持つ諸施設の一つである。この法人は、プライマリ・ヘルスケアの理念のもとに、より生活に身近なところで、サービスを提供し、人材育成にも力を入れている。多くの実習生を受け入れると同時に法人内部の職員研修にも力を入れており、昨年はその一環として約1年間にわたり、「SSM研修」を実施した。受講した管理者は、この研修の成果の一つとして、初めは、「認知症の人に対する思い」が先行し、実際に現場でのケアが出来ているかどうか悩んでいたが、研修を重ねていくうちに「現実」が「思い」に近づくようになったと話す。入居者や家族としっかり向き合い、スタッフ一人一人の、「気づき」を大切に、より質の高いホームを目指して頑張っている。家族は、行事や家族会への参加はもちろん、面会の頻度も多く、自分の身内だけでなく、他の入居者やホーム全体と関わっているといった人が多いと感じる。

こういった雰囲気のあるホームは、本当に底力があるよって良いだろう。これに加えて町内会の人達や近所の人達の熱心な応援や協力は何事にもかえがたい。ホームのスタッフの粘り強い働きかけやお膳立てがあつてこそだろうが、運営推進会議も定期的を実施され、町内会や家族の参加も多く、活発な意見交換があり、実りの多い結果を得ている。ホーム・家族・地域が、がっちり手を組んだグループホームとして成長しつつある姿に頼もしさを感じている。

特に改善の余地があると思われる点

ホームの生活のあらゆる場面でより良いケアを目指して頑張っているスタッフの日々の努力には頭が下がります。「一人ひとりの職の気づきをケアプランに、そして、暮らしへつなぐ」一連の試みは、ユニット毎の工夫、改良を加えながらより良いものにしていって下さい。

利用者が『少しでもやれた』という達成感が感じられたり、皆の中で注目され光輝く場面を一つでも多く作れたらと思います。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：要改善項目として特に挙げられてはいるが、グループホームとして目指している事が本当に正しいのか、常に見直し反省している。</p> <p>2、全体的に見て…：ホーム設立以来「個性の尊重」と「生きがいの追求」の理念はここでの生活全般に染み渡っている感じがする。具体的な小目標は、定期的に「出来たか」「何が出来なかったか」見直し、目指すものをしっかりと確認している。例えばADL維持と転倒防止を目標に、リハビリ体操と生活リハビリに取り組む等している。職員は各自手帳を携帯し、気付きをメモし、日常的に書く事で自分のものにして、学習する等の日々の積み重ねで自分を向上させている。気が付いた事を直ぐに書くという習慣は、簡単な事のように実行は中々難しいが、こういった積み重ねこそが目指すホームへの近道なのだろう。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：利用者が落ち着いた生活を保持する為には何が 필요한のか、職員一人ひとりがよく考えていて、項目にはないが、改善へ向けた積み重ねをしている。</p> <p>2、全体的に見て…：職員の気付きシートにメモされている「私は何時までここに居るの?」「誰にも相手にして貰えない」「服を脱がされる」といった、00さんになり代った思いが胸を打つ。こういった想像力・思いやり・自分勝手な思い込みではないかという振り返りが、今の落ち着いた暮らしを支えているのだろう。こんな職員の真摯な姿勢に応じるかのように、利用者の家族もこの場作りに参加している。玄関には可憐な黄色の花が満開で、又、立派なペーパーフラワーや置物が、居間には大画面のテレビがと、家族の方々の思いがいっぱい伝わって来る。このホームの場作りは大勢の暖かい心の結集の賜物と言えよう。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：買物や行事で個々に応じた金銭管理を、という目標は一人でも多く実現したい。買物支援は生活の場を広げ、社会の一員となるチャンスでもある。</p> <p>2、全体的に見て…：リビングルームのテーブルを囲み、チラシで肩入れを作りながら数人のお喋りが弾んだ。それぞれの若い頃の話からここでの暮しのあれこれ、時々折り返りが分からなくなって職員に教えて貰うが、日頃から今日のように良い雰囲気の話の輪が広がっているのだらうと思った。今朝、みんなが円になって歌を歌った時も、リードの職員が話の内容からトークに発展させ、流石に上手い話の引き出し方をしていた。こういったさり気ない働き掛けが、一人ひとりの力と経験を発揮させているのだろう。「話す」事だけではなく、ボタン付け等の縫い物・洗濯物や炊事の手伝い等の家事、絵手紙等趣味を楽しめるよう、色々な取り組みをしている。消極的な利用者に対して、粘り強くこの生活で輝く何かを見付けていって欲しい。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：ホームの新聞発行の検討は、このホームのサービスの質の向上に大きく寄与するだけでなく、ホームの歴史を綴る事にもなり、意義あると思う。</p> <p>2、全体的に見て…：運営推進会議ではホームの現状報告の他、毎回多くの町内の方が出席され、例えば司法書士(成年後見制度、ミニ法律相談)、消防署(避難訓練、応急措置)、警察署(行方不明時の対応)等の話も有意義で、問題が発生しないよう、又、例え発生しても早期に解決出来るよう、地域社会の人々に協力をお願いしている。リスク面の報告や相談もして、ホームの実態をオープンにしている。町内会の方々も、野菜等よく差し入れしてくれたり、「電子町内会に紹介してあげましょう」という話もある。近隣の人達や家族が気楽に入って来て、「何かこのホームの為に役立つ事はないか?」と、みんなが好意的な目で見守り、手を差し延べてくれるグループホームとなっている。</p>		